

東証スタンダード市場・福証  
証券コード：6998

決算補足説明資料

# 2025年3月期（2024年度） 第1四半期決算概要

2024年8月8日



## はじめに

当社商品の概要

## 2025年3月期（2024年度）第1四半期業績概要

1. 今回発表のサマリー
2. 連結業績の概要
3. 主な経営指標
4. セグメント別の状況
5. 財務の状況（連結）
6. 今後の見通し

## 参考資料

1. 業績の推移（連結）
2. 配当金の推移

# 当社商品の概要

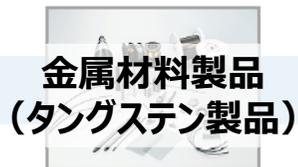
# 当社商品の概要

## 「粉末冶金技術」を駆使し、タングステン製品を軸に多様な特性を持つ商品を展開

粉末冶金技術



電球用タングステンワイヤー製品



金属材料製品  
(タングステン製品)

遮蔽能力に優れる  
医療関連カテーテル用  
タングステンワイヤー製品



ブレーカー用電気接点



電気・電子製品  
(タングステン合金)



抵抗溶接用電極



プラズマ電極



E Vリレー用接点

電機部品事業

他の商品

- ・コピー機や空気清浄機の放電線
- ・自動車のホーン用接点

- ・放射線遮蔽材料
- ・バルンサー用錘
- ・その他電極製品

- 熱に強いタングステンの特徴を用いた電球フィラメントが、当社の出発点
- タングステンに銅や銀を組み合わせ、**導電性や耐アーク性を備えた合金**を開発
- 粉末冶金技術を生かし、タングステン以外のチタンやアルミニウム等からなる**緻密な**ファインセラミックスを開発

「粉末冶金技術」  
「素材のノウハウ」  
「加工技術」

多様な特性を持つ  
商品を展開

1931

1950

1970

1980

1990

2000

タングステンカーバイドとコバルト等を組み合わせ、**耐摩耗性や耐腐食性に優れた**合金を開発

超硬合金製品  
(タングステンカーバイド合金)



ハードディスクドライブ  
(HDD)用  
磁気ヘッド基板



セラミックス製品  
(セラミックス材料)



セラミックス材料を応用

開発

- ・遠紫外LED



- ・耐摩耐食部品
- ・セラミックス精密加工品
- ・ウルトラファインバブル関連製品

機械部品事業

- ・産業用設備向け耐摩耗部材
- ・液晶塗付用超硬長尺製品
- ・超硬精密加工品

NTダイカッター



二軸押出機用部材  
「MAZELLOY®」

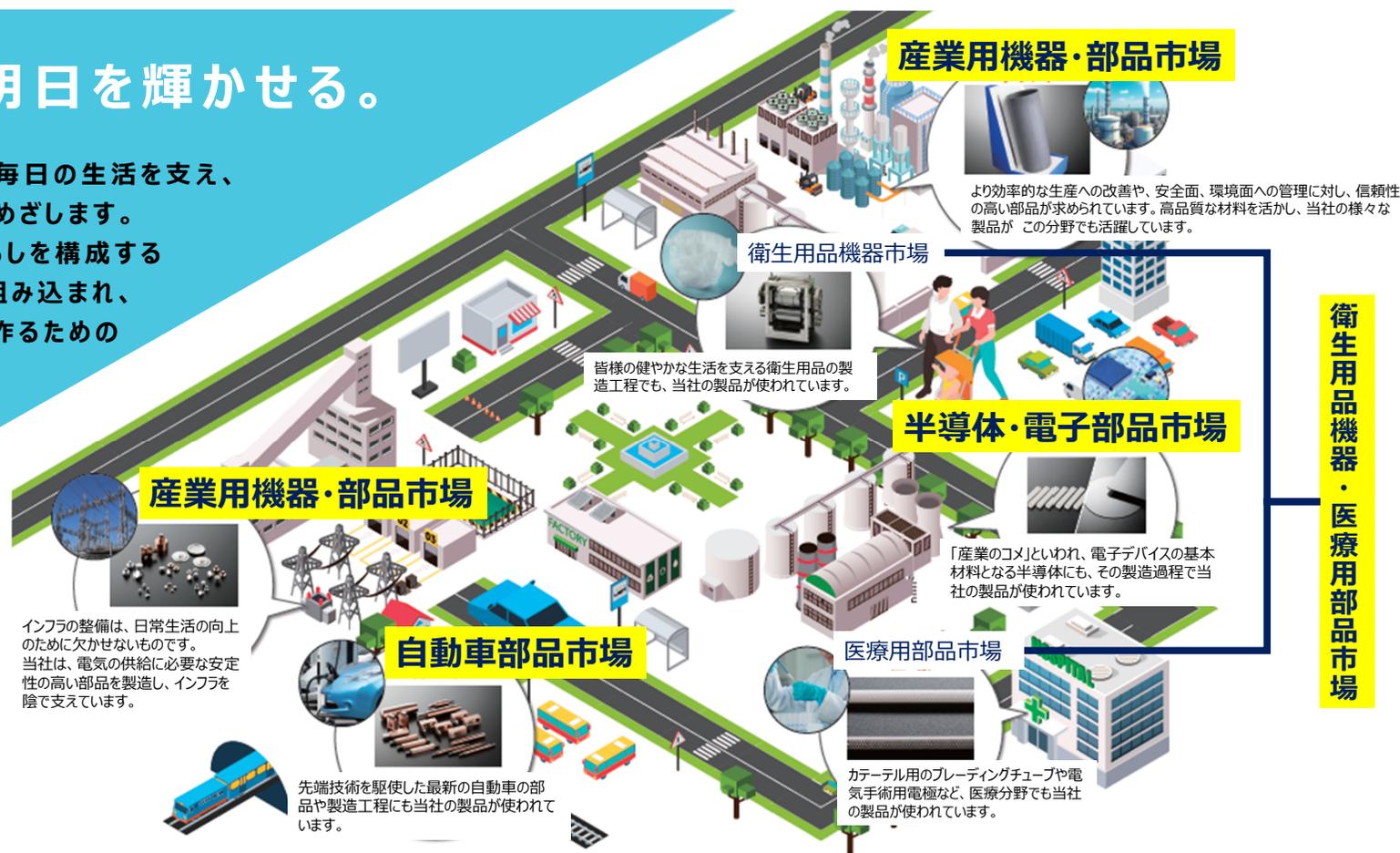


# 当社商品の概要

## 暮らしを支える様々な場面で使用される当社の製品

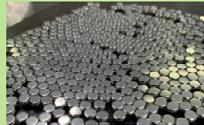
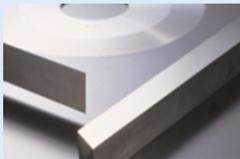
### 今日を支え、明日を輝かせる。

日本タングステンは、人々の毎日の生活を支え、明日を輝かせる製品づくりをめざします。当社の技術は、私たちの暮らしを構成する身近な製品のなかに数多く組み込まれ、また、そうした身近な製品を作るための機械部品・工具にも数多く利用されています。



# 当社商品の概要

## 4つのターゲット市場に、粉末冶金技術を生かした素材・商品群を提供

ターゲット市場	事業セグメント	
	機械部品事業	電機部品事業
半導体・電子部品市場	 <p>ハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板 世界 No. 1 シェア(当社調べ)</p>	 <p>プラズマ電極</p>
自動車部品市場	 <p>二軸押出機用部材 「MAZELLOY®」 (コンパウンド混錬機用) <b>新商品</b></p>	 <p>E Vリレー用接点 抵抗溶接用電極 (電装部品溶接用) </p>
産業用機器・部品市場	 <p>産業用設備向け耐摩耗部材 液晶塗付用超硬長尺製品</p>	 <p>ブレーカー用電気接点</p>
衛生用品機器 ・医療用部品市場	 <p>N Tダイカッター 国内No.1・世界No.2シェア(当社調べ) <b>新素材を開発</b></p>	 <p>医療関連カテーテル用 タングステンワイヤー製品</p>



# 2025年3月期（2024年度） 第1四半期 業績概要

# 1. 今回発表のサマリー

## 2025年3月期（2024年度）第1四半期決算の総括

・第1四半期の業績は、連結・個別ともに、前年同四半期比で増収増益。

### 経済環境

- ・雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加及び企業の設備投資の持ち直し等あるものの、国内では自動車の生産・出荷停止等もあったことから、景気は踊り場を迎えている。
- ・円安の進行などによる物価高や、中国経済の減速及び長期化するウクライナや中東情勢などにおける地政学リスクの高まり等により、先行きは依然として不透明な状況が継続する中で推移。

### ターゲット市場の概況

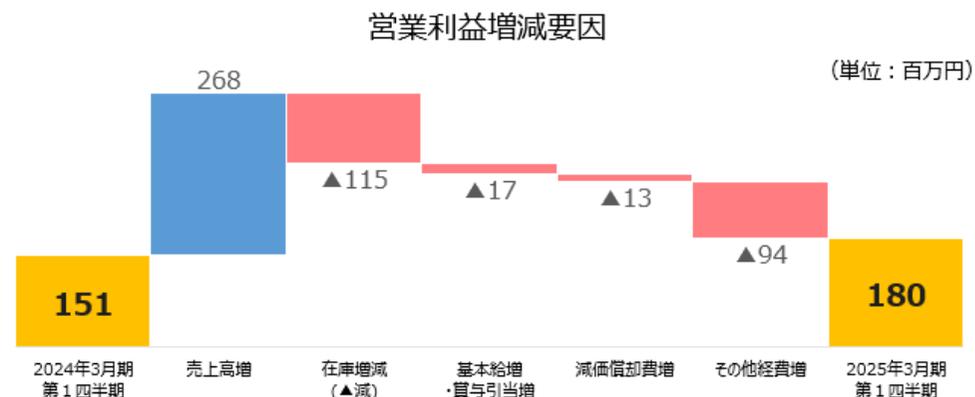
- ・半導体・電子部品市場 : 低迷していた需要から回復に向け推移しており、増収。
- ・衛生用品機器・医療用部品市場 : 一部で減収となった商品もあったが、まとまった需要の継続や、需要が回復した商品に支えられ、増収。
- ・産業用機器・部品市場 : 一部で減収となった商品もあったが、まとまった需要の継続や、需要が回復した商品に支えられ、増収。
- ・自動車部品市場 : 注力商品を中心に減収。

### 今後の見通し

- ・今後の見通し : ・国内では企業の前向きな設備投資や、賃金と物価の好循環による内需の拡大等が期待される中で、中国経済の停滞、中東情勢等の地政学リスク、円安によるコストプッシュインフレの懸念等により、先行きは依然として不透明な中で推移するものと思われる。  
・半導体・電子部品市場及び衛生用品機器・医療用部品市場において、堅調に推移するものと見込んでいるが、産業用機器・部品市場が当初見込みと比べ、受注減を見込んでいることや、自動車部品市場においても、勢いを欠く中で推移するものと見込む。  
・2025年3月期第1四半期の業績の進捗は、当第2四半期の業績予想と比べ、利益面が大きく進捗している状況。  
・当第2四半期に工場及び生産設備の修繕等を予定。
- ・業績予想 : 2025年3月期第2四半期及び通期の業績予想値（2024年5月9日公表）は、連結・個別とも据え置き、今後、業績予想の修正等が必要となった場合には速やかに公表。
- ・配当金予想 : 2025年3月期の配当金予想（2024年5月9日公表）は、据え置く。

## 2. 連結業績の概要

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	(単位：百万円) 対前年比	
			増減額	増減率
売上高	2,882	3,181	298	10.4
営業利益	151	180	28	18.6
経常利益	264	284	20	7.9
親会社株主に 帰属する 当期純利益	177	187	9	5.1



<b>連結売上高</b>	<b>31億8千1百万円</b> (前年同四半期比10.4%増)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板や、NTダイカッター等の注力商品が回復傾向にある中で、引き続き市場動向を注視しながら対応に努めることや、受注獲得に向けたプロモーション活動等に注力。</li> <li>電機部品事業の組織再編に伴う生産移管を着実に進め、需要の拡大に対応できる体制構築に努めている。</li> <li>半導体・電子部品市場 ————— 低迷していた需要から回復に向け推移し、増収</li> <li>衛生用品機器・医療用部品市場 —————</li> <li>産業用機器・部品市場 ————— 一部で減収となった商品もあったが、まとまった需要の継続や、需要が回復した商品に支えられ、増収</li> <li>自動車部品市場 ————— 注力商品を中心に減収</li> </ul>
<b>営業利益</b>	<b>1億8千万円</b> (同 18.6%増)	<ul style="list-style-type: none"> <li>連結子会社の業績が振るわなかったものの、注力商品の販売が増加したことによる収益性向上等により、増益。</li> </ul>
<b>経常利益</b>	<b>2億8千4百万円</b> (同 7.9%増)	<ul style="list-style-type: none"> <li>持分法による投資利益が減少したものの、営業利益が増加したこと等により、増益。</li> </ul>
<b>親会社株主に 帰属する四半期 純利益</b>	<b>1億8千7百万円</b> (同 5.1%増)	<ul style="list-style-type: none"> <li>経常利益の増加等により、増益。</li> </ul>

### 3. 主な経営指標

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期
売上高営業利益率	1.7	7.3	9.6	5.3	↑ 5.7
自己資本四半期純利益率 (ROE・%)	0.8	2.2	2.8	1.6	→ 1.6
総資産経常利益率 (ROA・%)	0.7	1.8	2.6	1.5	↑ 1.6
1株当り四半期純利益	15.96	45.45	60.45	36.79	↑ 38.62

➤ 各指標は、前年同四半期と比較し、横這いもしくは若干上昇

(注) 2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

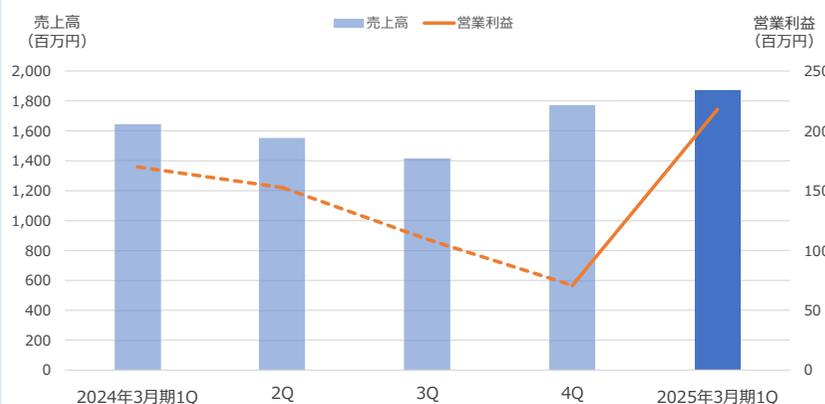
# 4. セグメント別の状況

## ■ セグメント業績の概要

(単位：百万円)

		2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	対前年比	
				増減額	増減率 (%)
機械部品事業	売上高	1,644	1,869	224	13.7
	営業利益	169	217	48	28.4
電機部品事業	売上高	1,250	1,325	75	6.0
	営業利益	130	112	△17	△13.6
調整額	売上高	△11	△13	△1	-
	営業利益	△147	△150	△2	-
全社	売上高	2,882	3,181	298	10.4
	営業利益	151	180	28	18.6

### 機械部品事業



	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期
売上構成比	56.8%	58.5%
営業利益率	10.3%	11.7%

#### 前年同四半期比

- ・売上高は、13.7%の増収
- ・営業利益は、28.4%の増益

#### 四半期推移

- ・売上高は、産業用機器・部品市場で引き続き需要が伸長し、18億円超えて推移
- ・営業利益は、半導体・電子部品市場及び衛生用品機器・医療用部品市場で、低迷していた需要から回復に向け推移しており増益で推移

### 電機部品事業



	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期
売上構成比	43.2%	41.5%
営業利益率	10.4%	8.5%

#### 前年同四半期比

- ・売上高は、6.0%の増収
- ・営業利益は、13.6%の減益※  
※注力商品が減少したことや、中国市場での低迷による

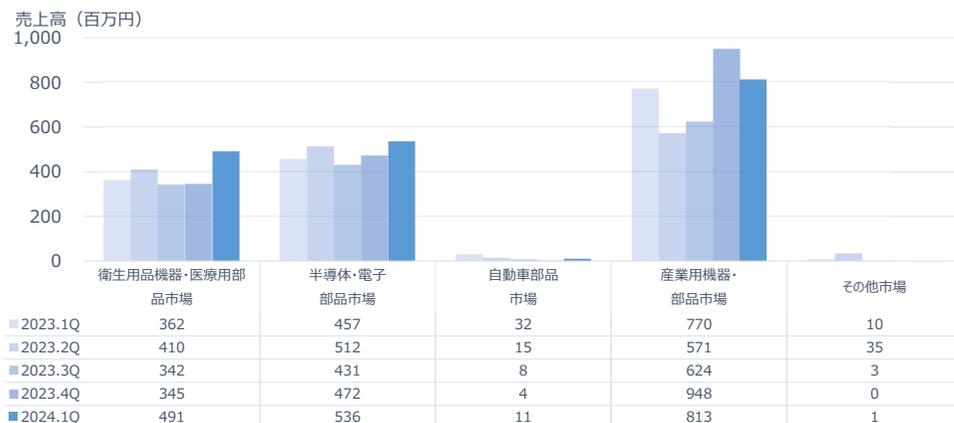
#### 四半期推移

- ・売上高は、緩やかながらも上昇基調で推移
- ・営業利益は、注力商品が減少したことや、中国市場での低迷により、減益で推移

## 4. セグメント別の状況

### 機械部品事業

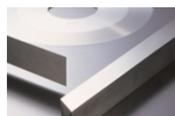
#### ■ ターゲット市場別業績・主要商品の状況



NTダイカッター



HDD用  
磁気ヘッド基板



二軸混練押出  
機用の金属部品

製鉄所向け  
の耐摩耗部材

※売上高はセグメント間の取引を含んでおりません。

#### ターゲット市場の主要な商品の状況 (前年同四半期比)

##### ■ 半導体・電子部品市場

###### 情報関連機器のハードディスクドライブ (HDD) 用磁気ヘッド基板

データセンター等で使用される大容量HDDの需要が、コロナ禍後の需要減から回復傾向にある中で、当商品も前連結会計年度第4四半期から回復傾向で推移しており、増収

##### ■ 衛生用品機器・医療用部品市場

###### NTダイカッター

エンドユーザーの再編や、競合企業の台頭等、厳しい市場環境の中で、新材料の投入や、新構造のロータリーカッターユニットによる販売促進が受注獲得につながり始めたこと及び円安の効果等もあり、増収

##### ■ 産業用機器・部品市場

###### 二軸混練押出機用の金属部品

前連結会計年度下期から、まとまった需要が継続し、増収

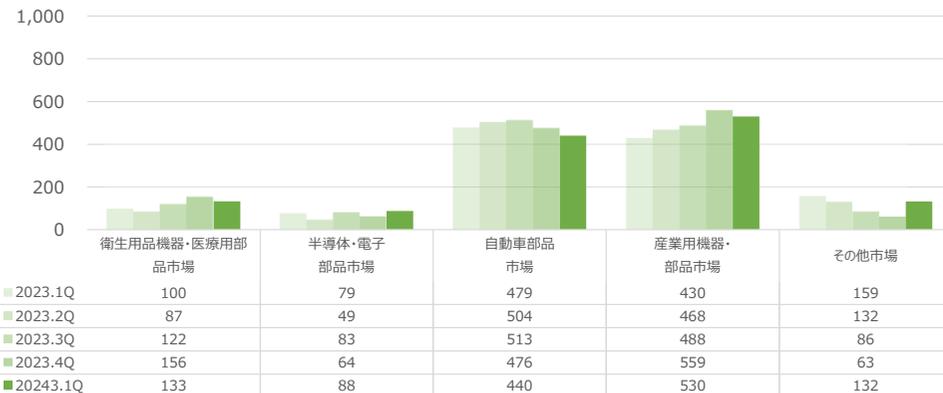
###### 製鉄所向けの耐摩耗部材

前年同四半期に需要が集中していたこと等により、減収

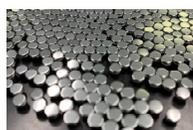
## 4. セグメント別の状況

### 電機部品事業

売上高 (百万円)



医療関連カテーテル用  
タングステンワイヤー製品



EVリレー用接点



ブレーカー用  
電気接点



抵抗溶接用電極

※売上高はセグメント間の取引を含んでおりません。

### ターゲット市場の主要な商品の状況 (前年同四半期比)

#### ■ 自動車部品市場

##### EVリレー用接点

EV販売が鈍化する中で、北米での自動車減産の影響を受けており、減収

##### 電装部品溶接用の抵抗溶接用電極

米国向けや、中国市場での販売が低迷したこと等により、減収

#### ■ 産業用機器・部品市場

##### 産業用設備向けのブレーカー用電気接点

顧客の在庫積み増しによる生産調整が解消し始めており、増収

#### ■ 衛生用品機器・医療用部品市場

##### 医療関連部材のカテーテル用タングステンワイヤー製品

東南アジア地域向けの在庫調整が解消したことや、北米地域での需要も伸長しており、増収

## 5. 財務の状況（連結）

	2024年3月期	2025年3月期 第1四半期	(単位：百万円) 対前年比 増減額
総資産	17,137	17,587	449
負債	5,024	5,319	294
純資産	12,113	12,268	155

### 主な経営指標

	2024年3月期	2025年3月期 第1四半期
自己資本比率（%）	70.6	69.7
1株当たり純資産（円）	2,498.79	2,530.87

※2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

	主な増加要因 (単位:百万円)	主な減少要因 (単位:百万円)
<b>総資産</b> <b>175億8千7百万円</b> (前連結会計年度末比4億4千9百万円増)	売上債権 + 325 棚卸資産 + 180 有形固定資産 + 83 投資有価証券 + 77	現金及び預金 △187
<b>負債</b> <b>53億1千9百万円</b> (同2億9千4百万円増)	流動負債 + 219 固定負債 + 75	—
<b>純資産</b> <b>122億6千8百万円</b> (同1億5千5百万円増)	利益剰余金 + 65 その他有価証券評価差額金 + 48 為替換算調整勘定 + 49	—

## 6. 今後の見通し

### 経済環境の見通し

・国内では企業の前向きな設備投資や、賃金と物価の好循環による内需の拡大等が期待される中で、中国経済の停滞、中東情勢等の地政学リスク、円安によるコストプッシュインフレの懸念等により、先行きは依然として不透明な中で推移するものと思われる。

### 当社グループの見通し

- ・半導体・電子部品市場 : 堅調に推移するものと見込む。
- ・衛生用品機器・医療用部品市場 : 堅調に推移するものと見込む。
- ・産業用機器・部品市場 : 当初見込みと比べ、受注減を見込む。
- ・自動車部品市場 : 勢いを欠く中で推移するものと見込む。

### 2025年3月期第2四半期の業績見込み

- ・2025年3月期第1四半期の業績の進捗は、当第2四半期の業績予想と比べ、利益面が大きく進捗している状況。
- ・当第2四半期に工場及び生産設備の修繕等を予定。

### 2025年3月期の連結業績予想及び配当予想

・現時点で、2025年3月期第2四半期及び通期の連結及び個別業績予想値並びに配当金予想は据え置くこととし、今後、業績予想の修正等が必要となった場合には速やかに公表する。

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

連結業績予想	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	年間配当金			配当性向(連結)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	第2四半期末	期末	合計		
第2四半期(累計)	5,900	4.1	180	△37.8	310	△32.3	210	△41.9	43.35	2025年3月期(予想)	25円	25円	50円	43.2%
通期	12,000	4.7	520	9.2	800	1.8	560	6.2	115.61					



# 参考資料

# 1. 業績の推移（連結）

## 経営成績（連結）

（単位：百万円）

区分	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期
売上高	2,495	2,883	3,330	2,882	3,181
営業利益	43	209	320	151	180
経常利益	114	281	423	264	284
親会社株主に帰属する四半期純利益	77	218	291	177	187
純資産	9,966	10,140	10,945	11,425	12,268
総資産	15,744	15,405	17,105	17,341	17,587

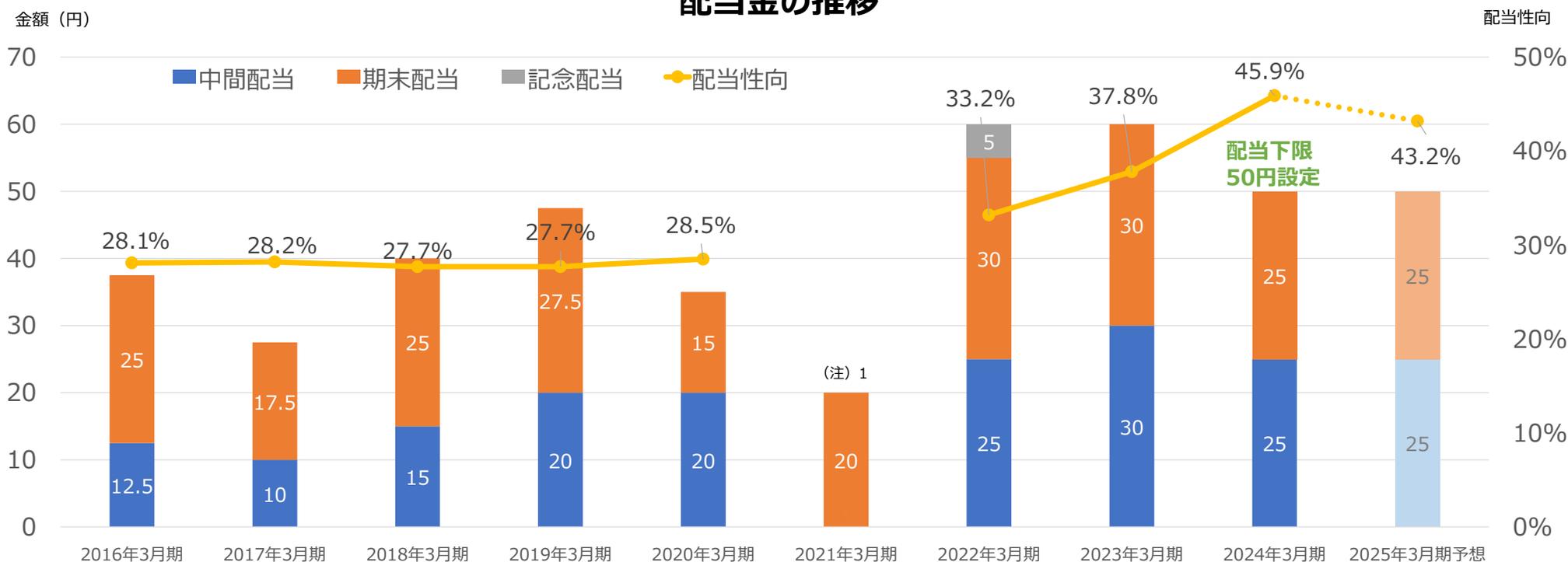
## 経営指標（連結）

区分	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期
売上高営業利益率 (%)	1.7	7.3	9.6	5.3	5.7
自己資本比率 (%)	63.2	65.7	63.9	65.8	69.7
1株当たり純資産 (BPS) (円)	2,064.34	2,102.94	2,264.84	2,360.19	2,530.87

## 2. 配当金の推移

- 当社は配当性向30%を目途としつつ、株主の皆様への利益還元の姿勢を明確にするため、2024年3月期より、1株当たりの年間配当金の下限を50円に設定しております。今後も安定的・継続的な株主還元而努力まいります。

配当金の推移



- (注) 1 2021年3月期は当期純損失であったため配当性向は該当ありません。  
 2 2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2016年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、配当金額を算定しております。

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。